

安心して遊べるおもちゃで  
楽しんでほしい――



- 1 花みずきの会の皆さん
- 2 和やかな雰囲気作業風景
- 3 材料は使わなくなった布など
- 4 完成し貸出を待つおもちゃたち
- 5 小学生と高齢者の交流会で使用された（平成22年11月16日）
- 6 お弁当をモチーフにしたおもちゃ
- 7 昔の歌をマスに配置したすごろく
- 8 色鮮やかな雑飾り



利用者からは喜びや感謝の声が寄せられ、励みになつていくという。「ぜひ、多くの人に利用してほしい。リクエストにも答えない」と話す前田さん。温もりのある、安心安全なおもちゃで、心の交流を図ってほしい。

「花みずきの会」は、23人で全員女性だ。毎週木曜日に社会福祉協議会に集まり、おもちゃを作っている。作業風景は、笑顔が絶えずとても明るい。前田ノブ子会長は「私たちが楽しみ、皆さんに喜んでもらえれば」と会のモットーを紹介する。そうした和気あいあいの中にも「一つの作品を作るといふ真剣さもある」と話す。

手作りの物には、温かみがある。作り手の真心がこもっているからだ。そんな手作りのおもちゃを制作し、無料で貸し出す団体がある。

「花みずきの会」。

平成10年に発足し、今年で15年目を迎える。

彼女たちが作るおもちゃはすべて布製。安全面や使いやすさを考慮している。だから、幼児から高齢者まで、誰にもやさしく、安心して遊べると評判だ。これ

## ボランティア 花みずきの会

Hanamizukinokai

手作りの布製おもちゃを無料で貸し出している。  
◆場所：小林市老人福祉センター百歳会館 Tel.22-5479（前田）  
◆貸出日：月曜～金曜 ◆貸出期間：2週間以内